

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 5 8	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>Genetic Association between Aldehyde Dehydrogenase 2 (ALDH2) Variation and High-Density Lipoprotein Cholesterol (HDL-C) Among Non-Drinkers in Two Large Population Samples in Japan.</p> <p>日本の 2 大母集団における非飲酒者でのアルデヒド脱水素酵素 2(ALDH2)変異と高密度リポタンパク質コレステロール(HDL-C)の遺伝的相関</p>	
執筆者	
<p>WADA Manabu, DAIMON Makoto, EMI Mitsuru, IJIMA Hiroshi, SATO Hidenori, KOYANO Satoru, TAJIMA Katsushi, KAWANAMI Toru, KURITA Keiji, KATO, EMI Mitsuru, IJIMA Hiroshi, SATO Hidenori, KOYANO Satoru, HUNT Steven C, HOPKINS Paul N, KUBOTA Isao, KAWATA Sumio, and KATO Takeo</p>	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Atheroscler Thromb, Vol.15 No.4 Page.179-184 (2008)	
キーワード	
一塩基多型、ALDH2、HDL-C	
要 旨	
<p>適量のアアルコール摂取は冠状動脈性心疾患にある程度の予防効果を与えると考えられており、それはアルコール摂取による高密度リポタンパク質コレステロール(HDL-C)の増加と関連している。HDL-C については、HDL-C が低いことがアテローム性動脈硬化症の危険因子の 1 つであること、食習慣が HDL-C に影響することが報告されている。</p> <p>アルデヒド脱水素酵素 2(ALDH2)の遺伝子型はアルコール代謝に密接な関連があるが、ALDH2 遺伝子型と HDL-C レベルの関係はこれまでに明らかにされていない。HDL-C レベルと ALDH2 遺伝子型との相関を調べるために、アルコールを摂取しない日本人(n=1,736)を被験者とする集団ベースの調査を行った。この結果、総コレステロール、トリグリセリド、HDL-C と低密度リポタンパク質コレステロールの 4 つのリポタンパク質パラメーターと ALDH2 遺伝子型について調べたところ、ALDH2 遺伝子の Glu487Lys 変異(rs671)において血漿中の HDL-C 減少と有意な相関があることがわかった。ALDH2 遺伝子には全部で 9 つの一塩基多型が存在したが、rs671 以外の一塩基多型では HDL-C との相関は見られなかった。以上から、アルコール摂取と関係なく、ALDH2 遺伝子の遺伝子変異が HDL-C レベルに影響を与えることが示唆された。</p>	